

# 各種対策工法の検討フロー

最終更新：2012/10/10

更新履歴

20120926

1. フロー図の最終振り分け部分の記号を修正

20120928

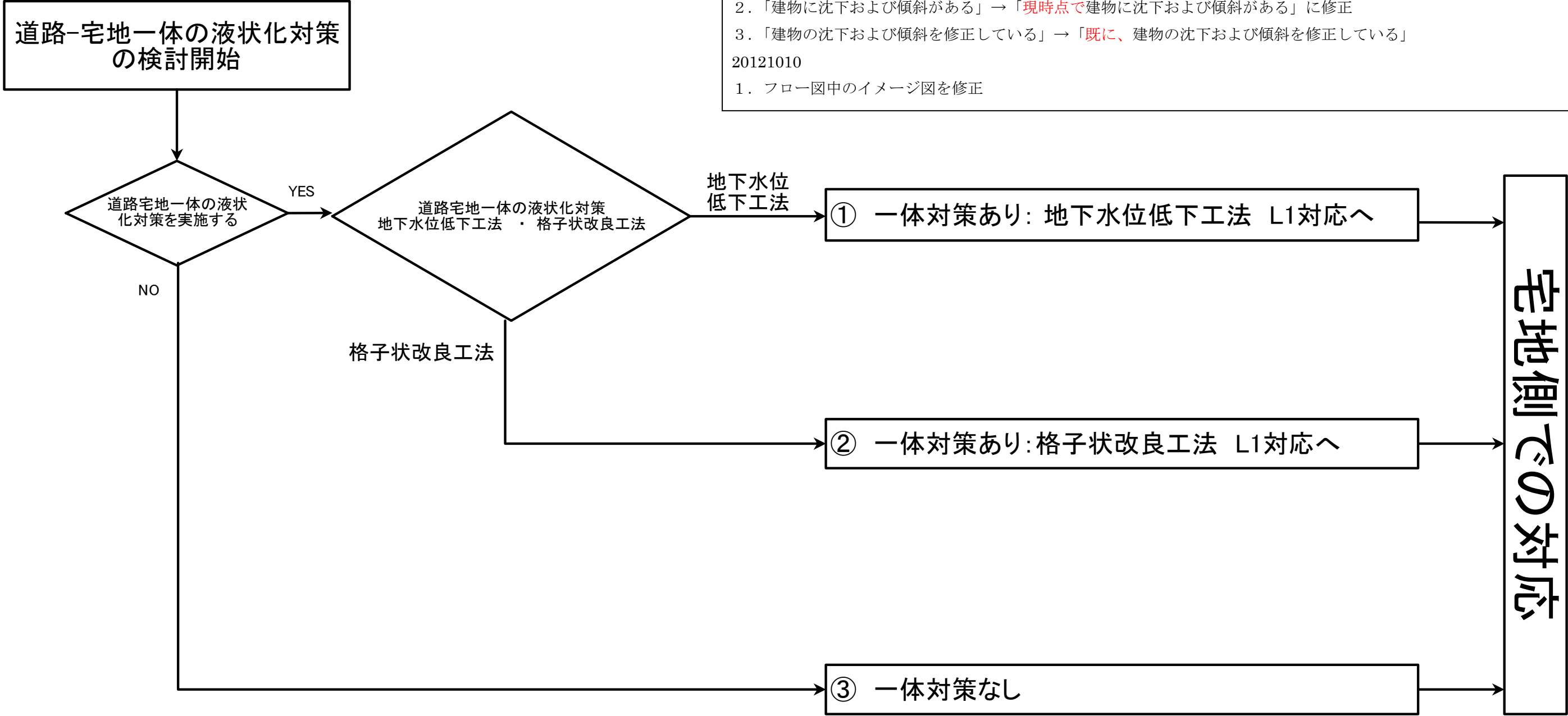
1. ①地下水位低下工法のルートⅢとルートⅣの表記を変更

2. 「建物に沈下および傾斜がある」→「**現時点で**建物に沈下および傾斜がある」に修正

3. 「建物の沈下および傾斜を修正している」→「**既に**、建物の沈下および傾斜を修正している」

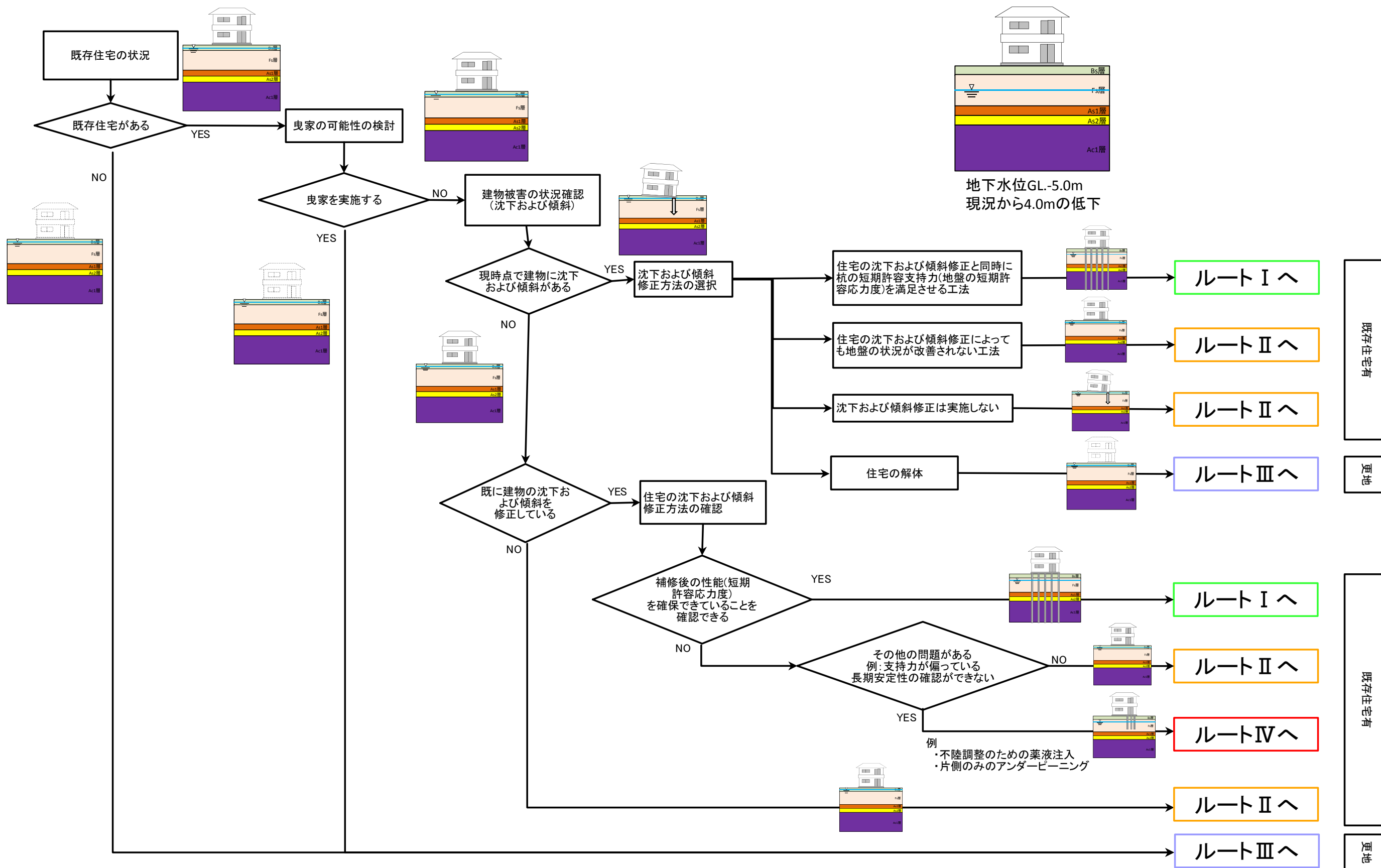
20121010

1. フロー図中のイメージ図を修正

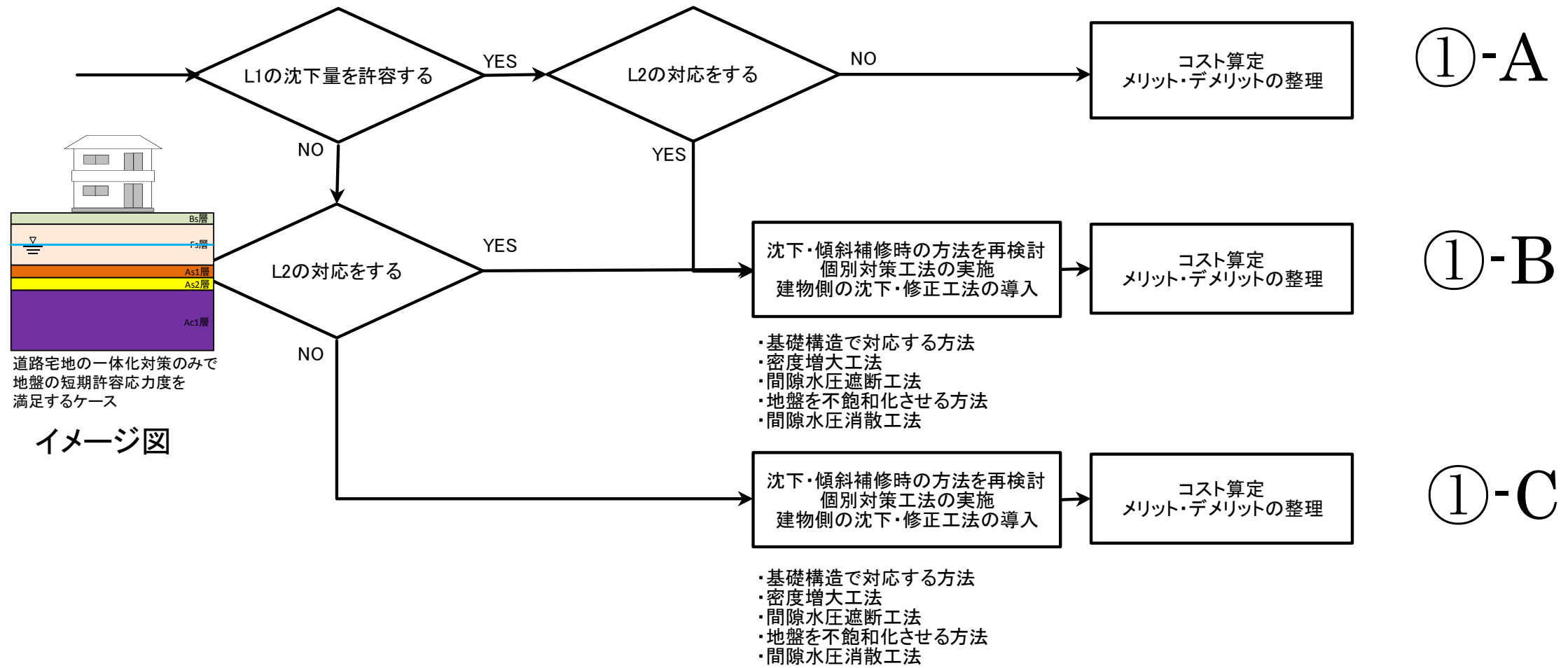


# ①一体化対策あり：地下水位低下工法

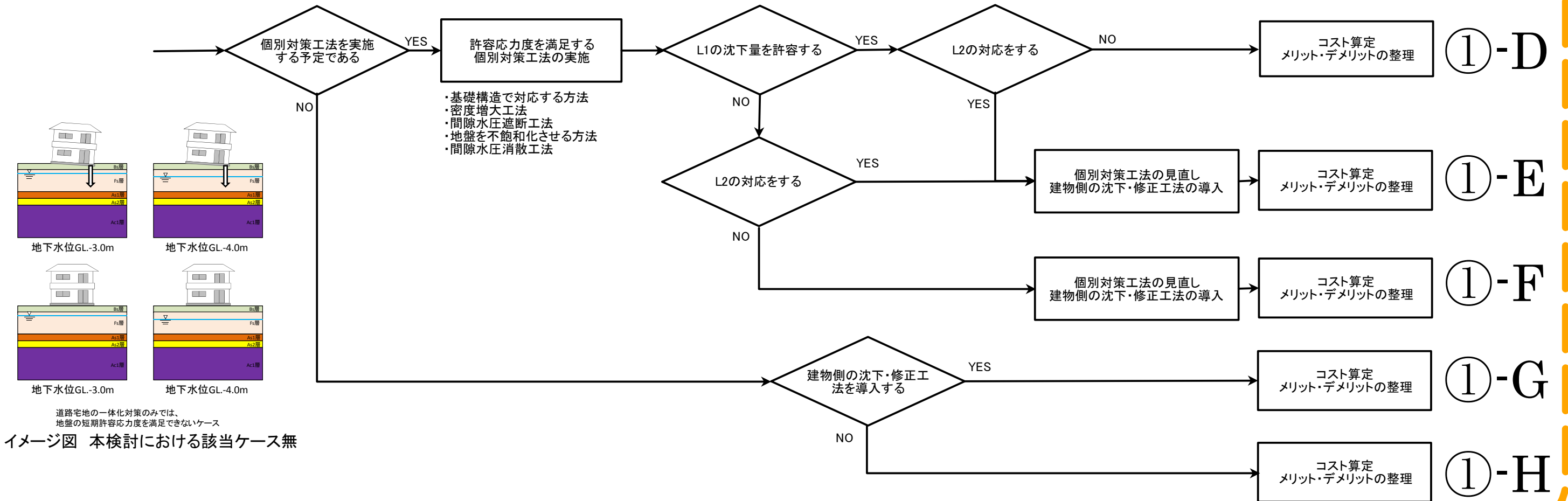
検討する地下水位低下工法の仕様



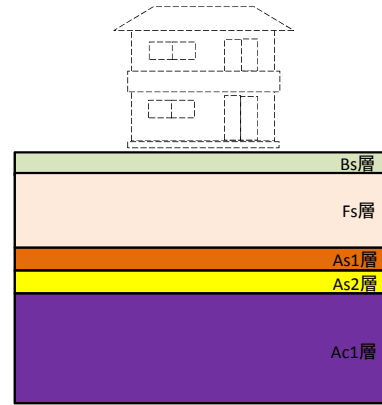
ルート I レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されている場合(既存住宅有)



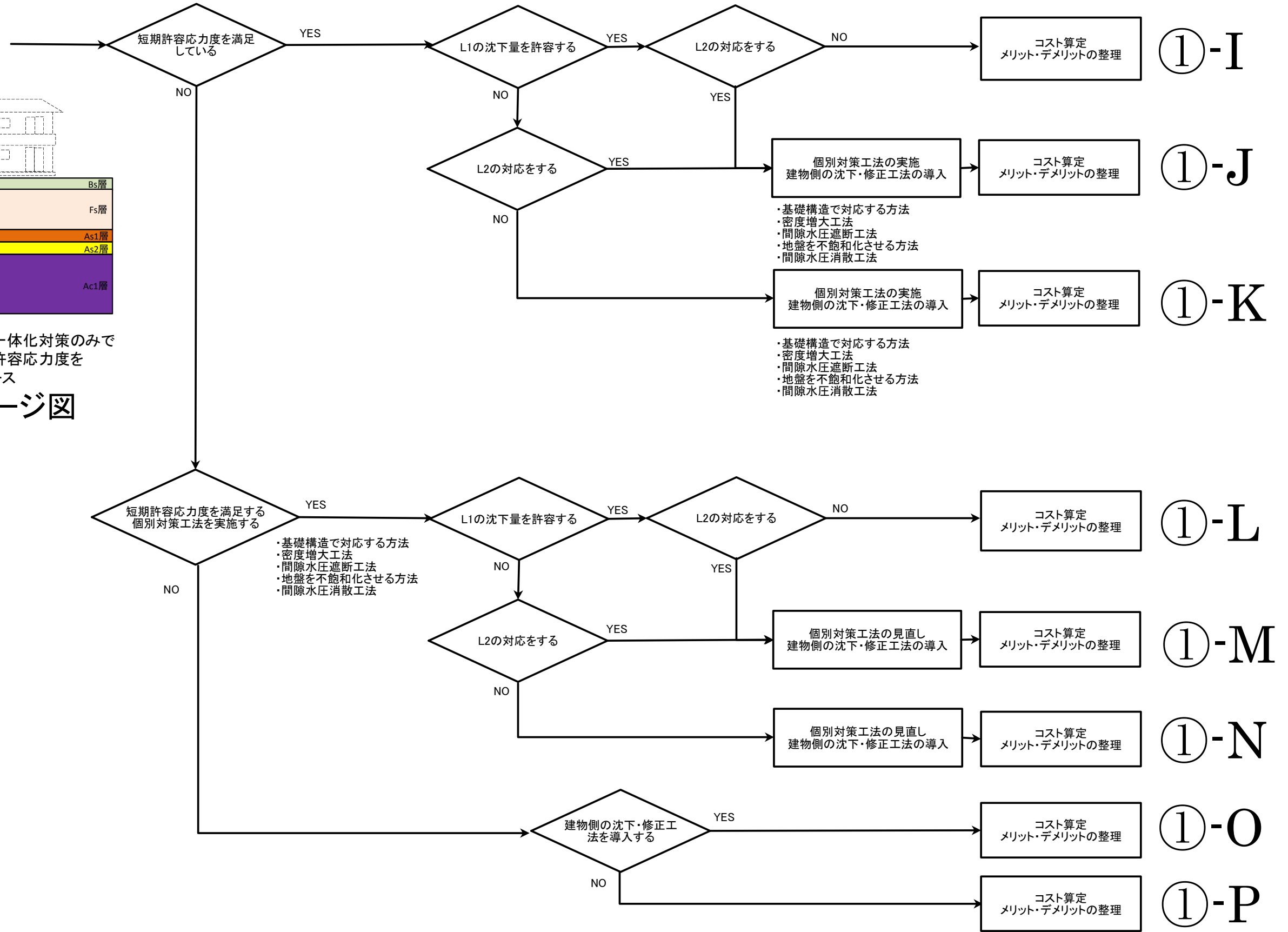
ルートⅡ レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されていない場合(既存住宅有)



ルートⅢ レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されていない場合(更地)

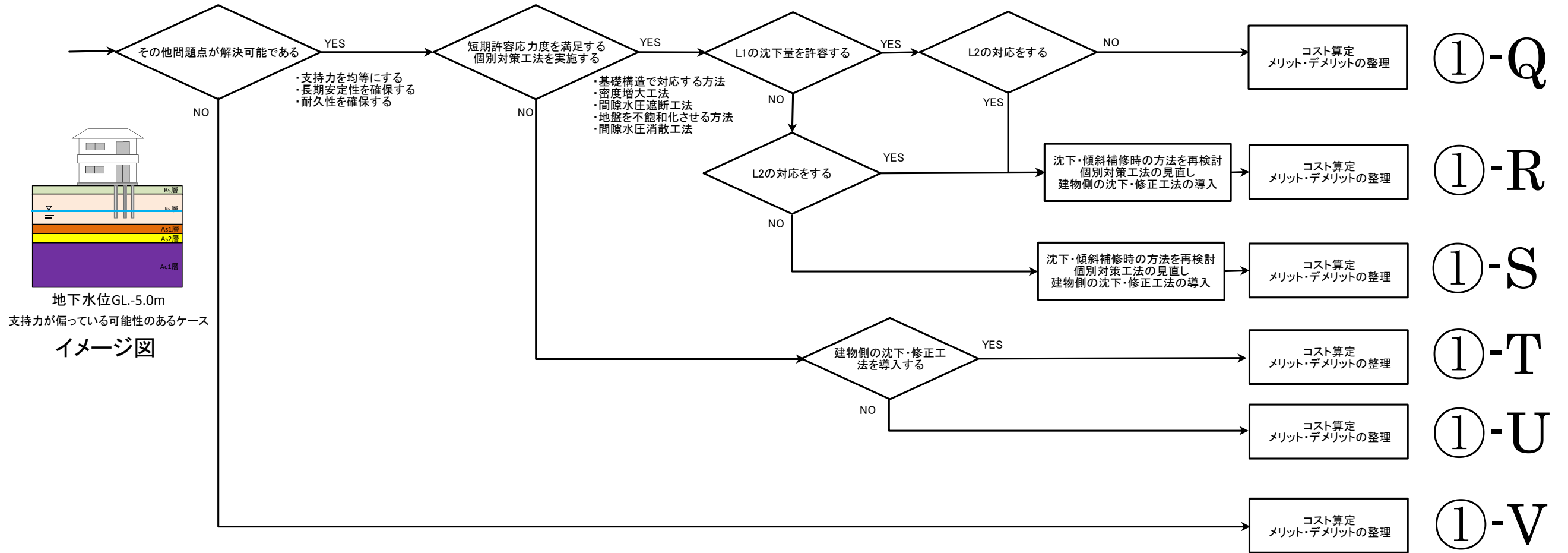


道路宅地の一体化対策のみで地盤の短期許容応力度を満足するケース  
イメージ図

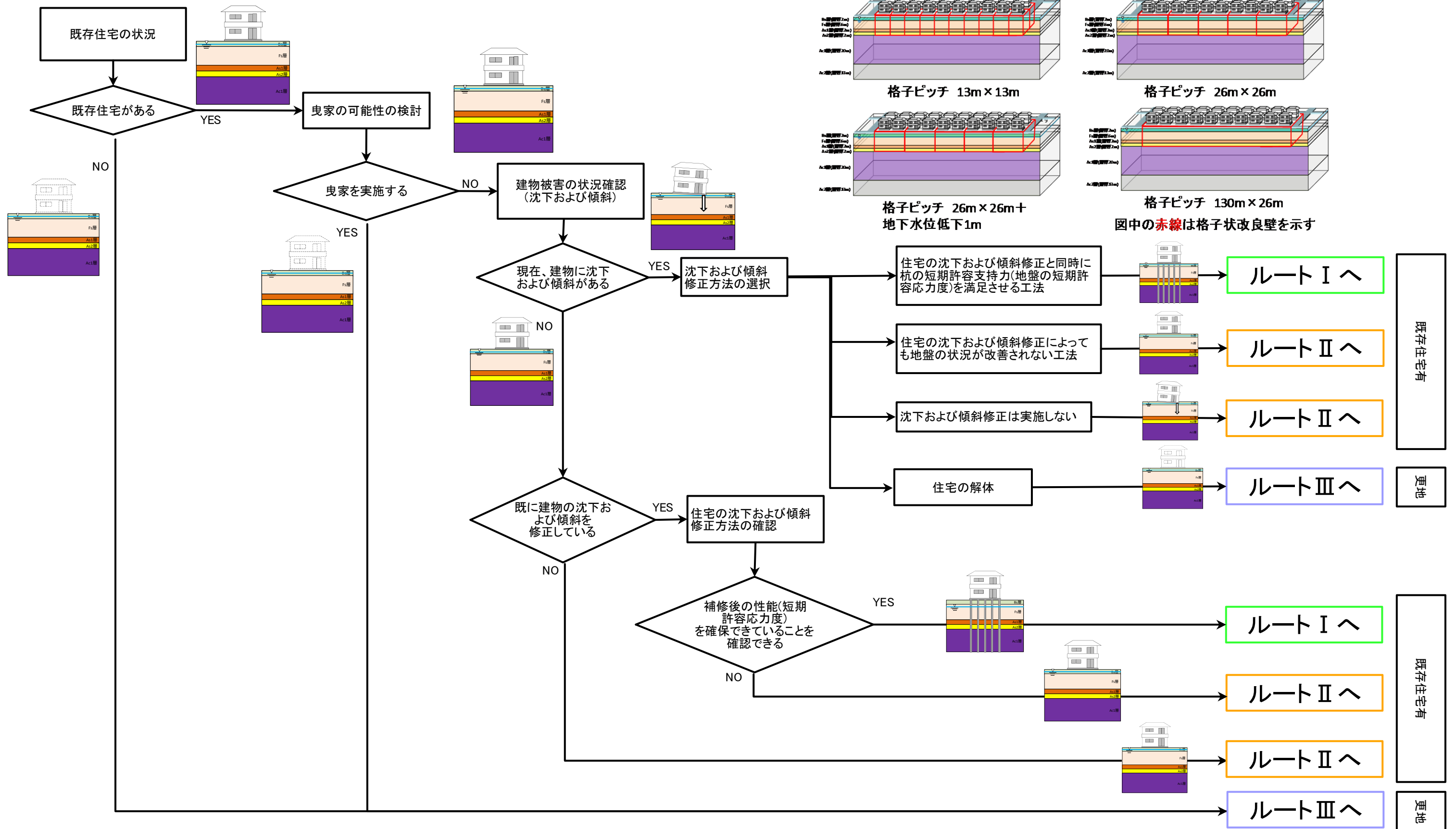


**ルートIV**

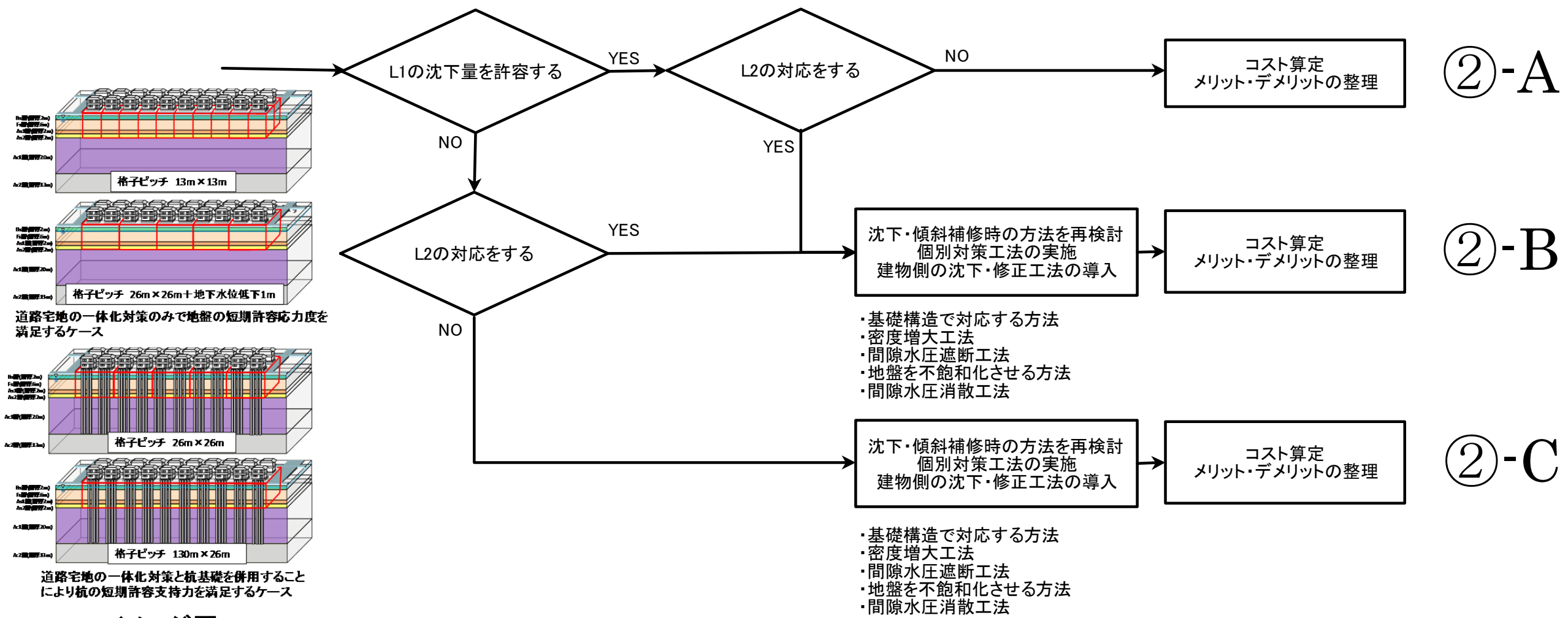
レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されていない場合で住宅の沈下・傾斜修正により支持力が偏ったり、長期の安定性が確認できなくなった場合(既存住宅有)



## ② 一体化対策あり：格子状改良工法

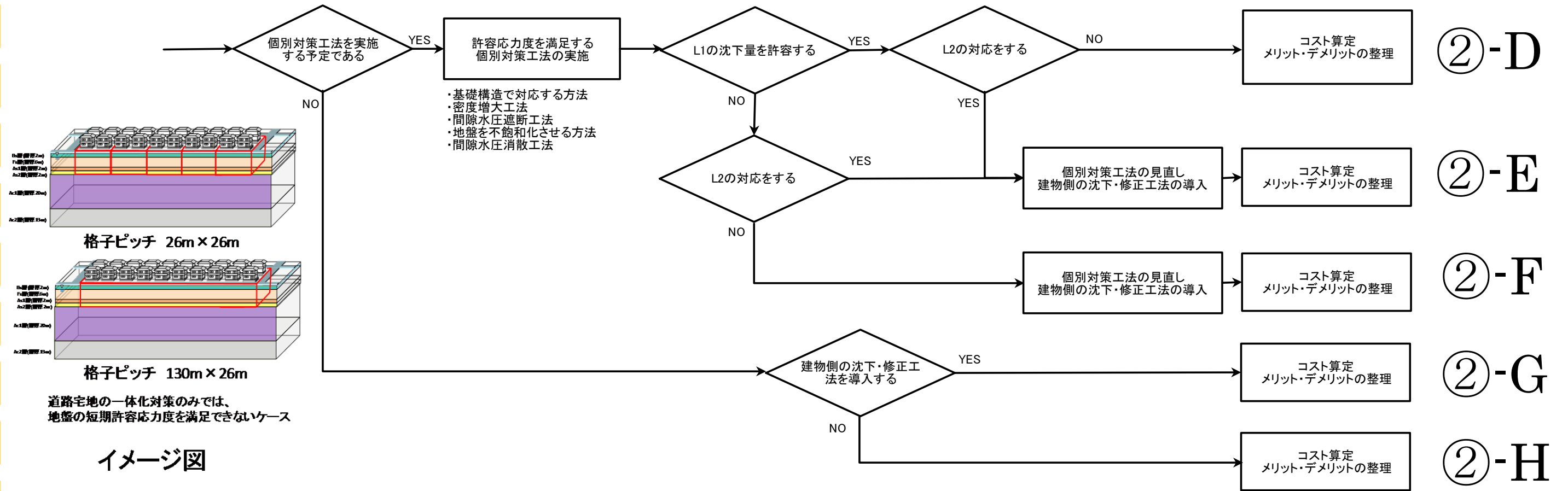


# ルート I レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されている場合(既存住宅有)

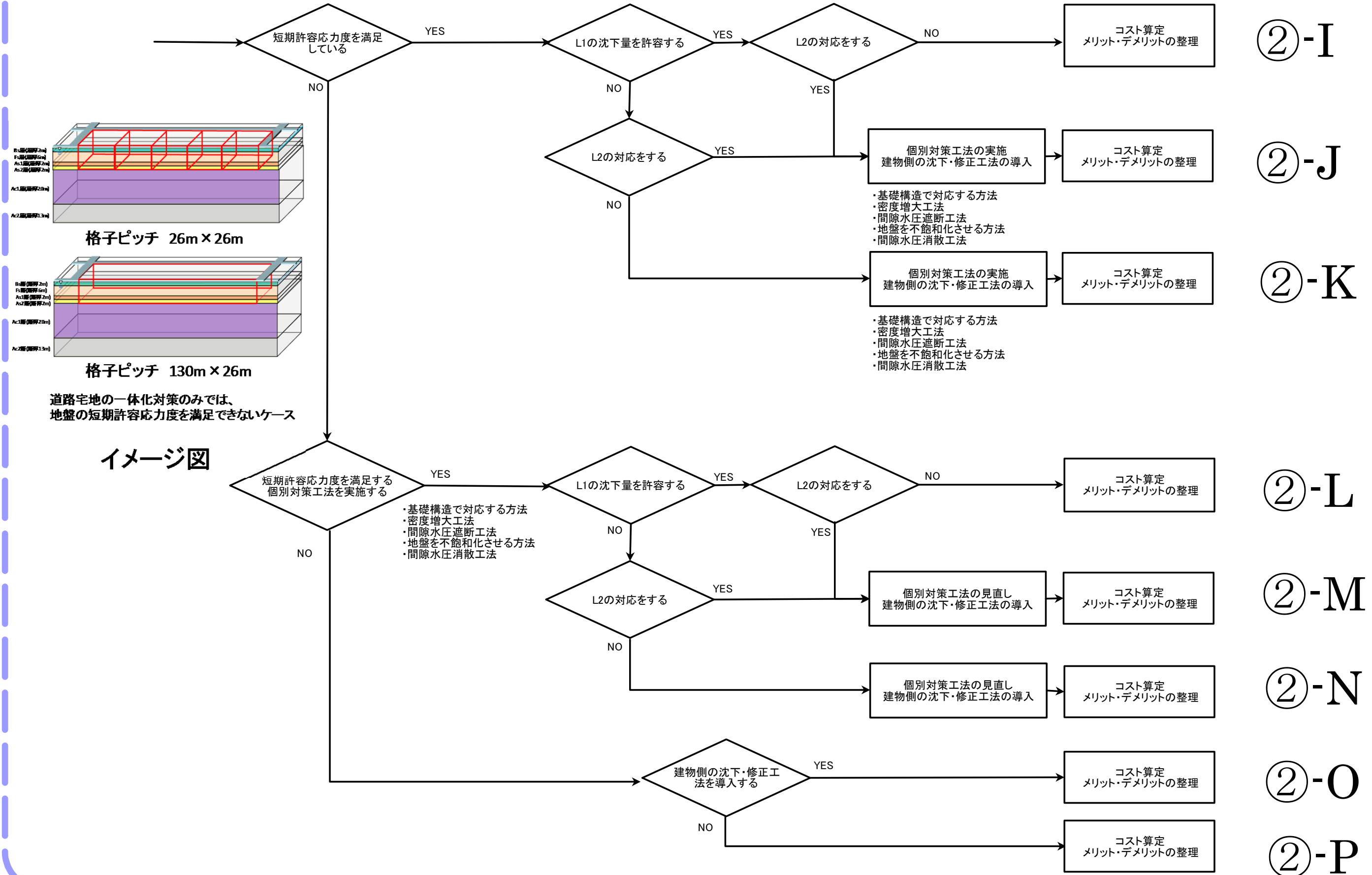




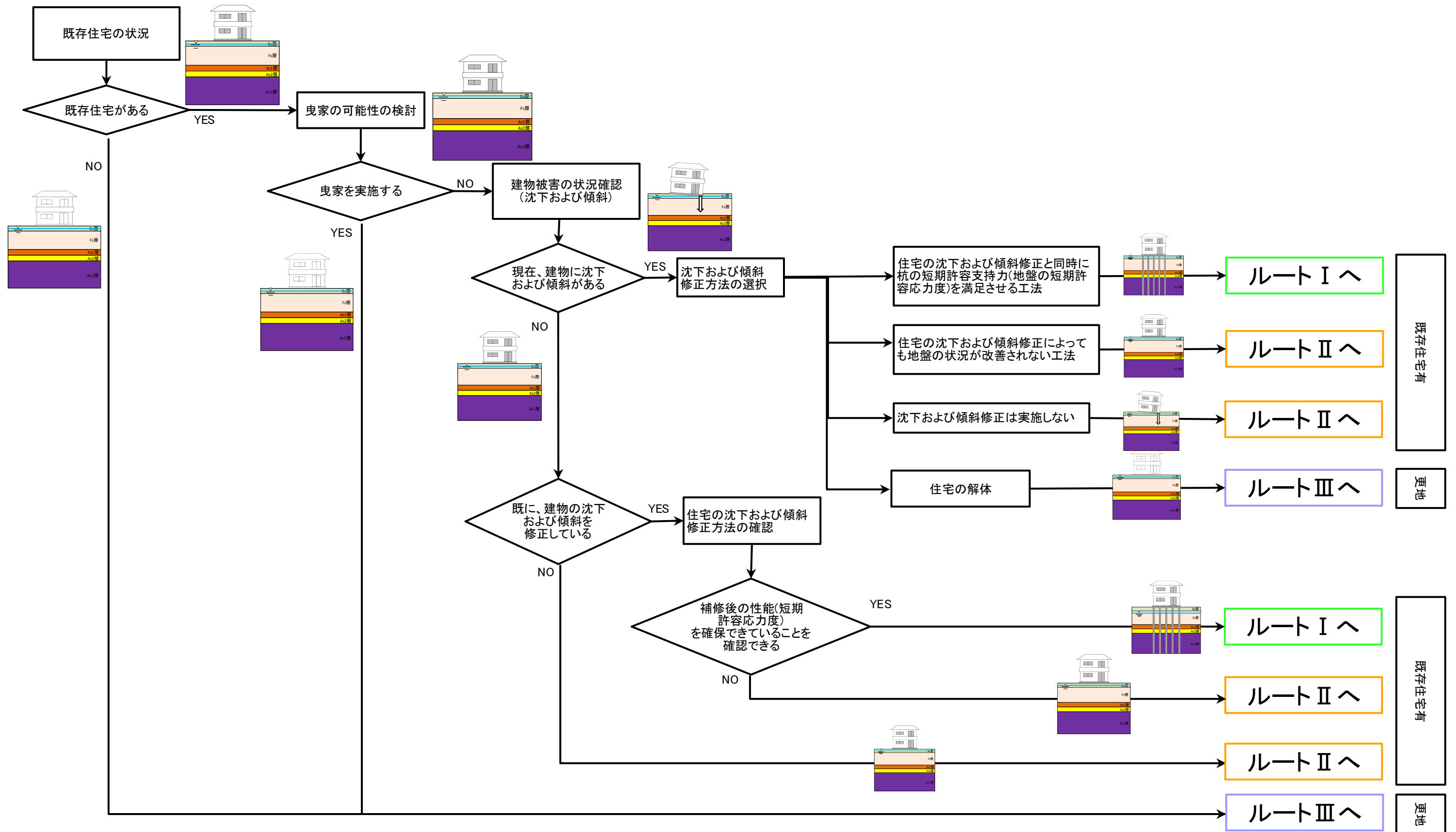
ルートⅡ レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されていない場合(既存住宅有)



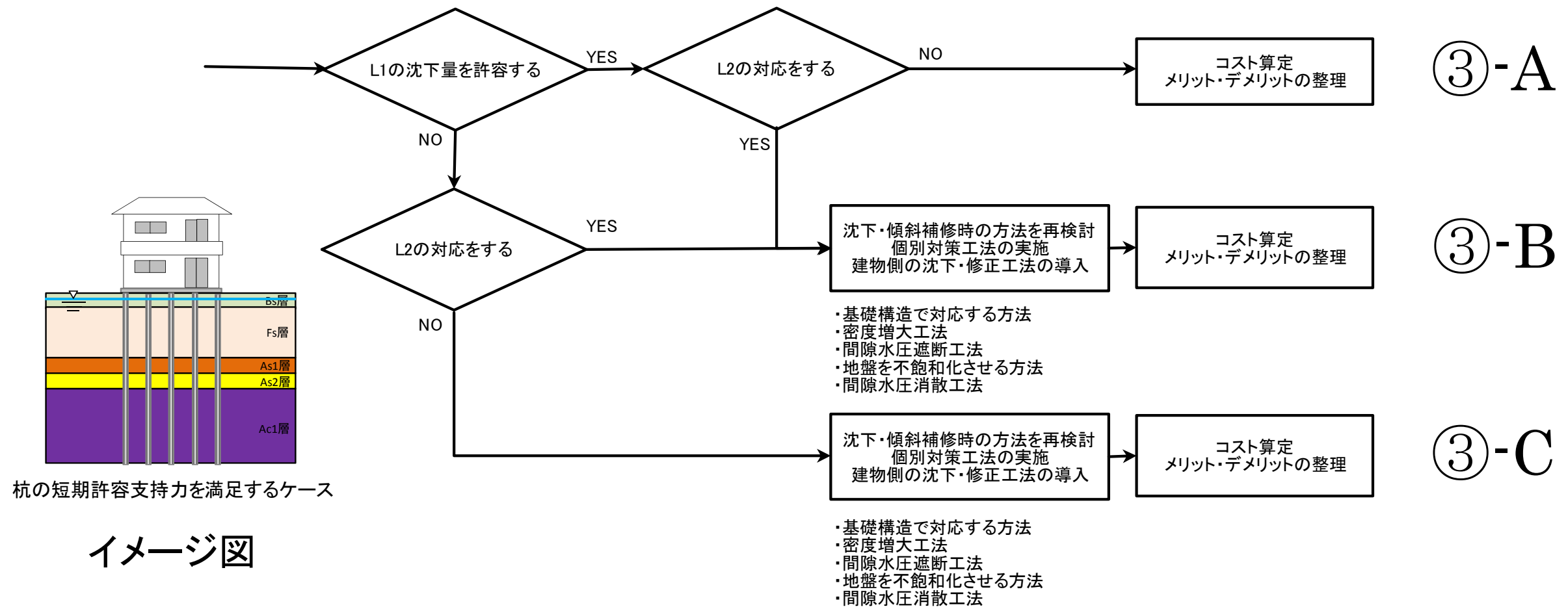
ルートⅢ レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されていない場合(更地)



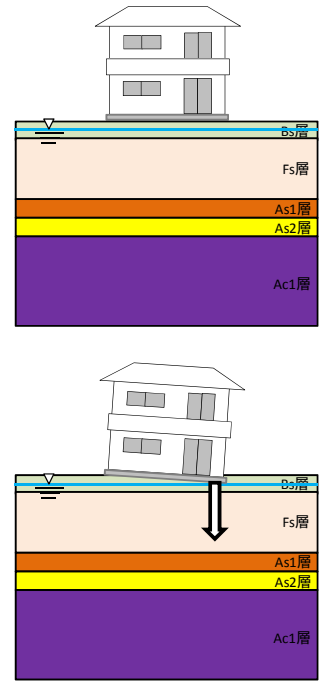
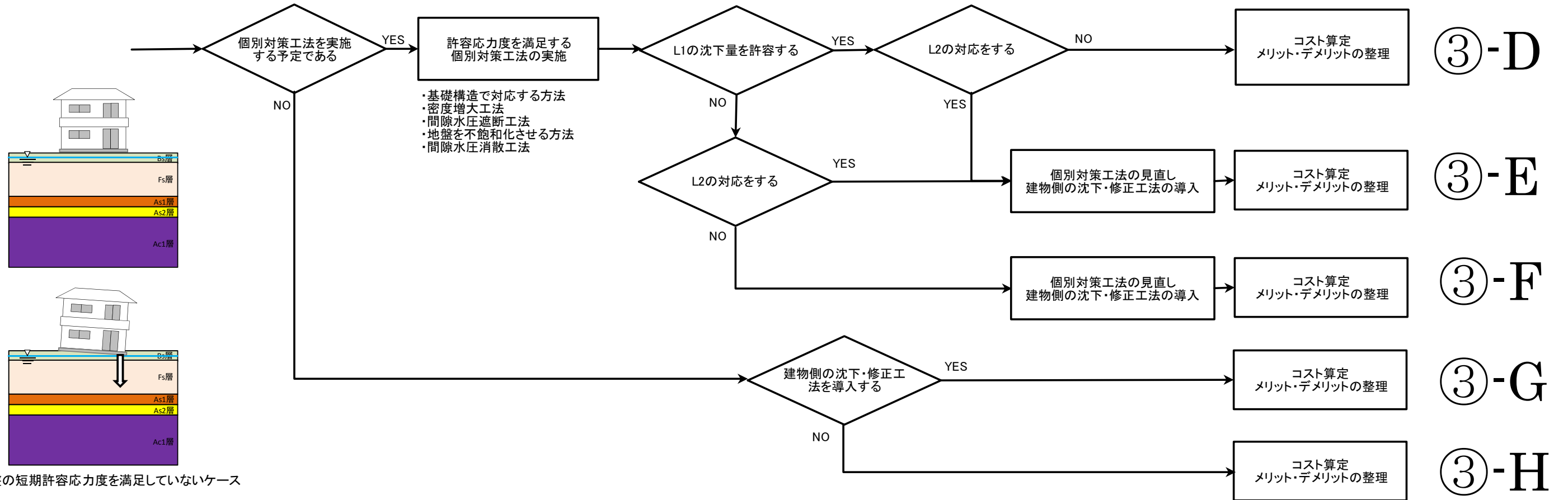
### ③ 一体化対策なし



ルート I レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されている場合(既存住宅有)



ルートⅡ レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されていない場合(既存住宅有)



地盤の短期許容応力度を満足していないケース

イメージ図

ルートⅢ レベル1地震動時に地盤の短期許容応力度もしくは杭の短期許容支持力が確認されていない場合(更地)

